

# オンライン受講 + オンライン受験も可能！ ITIL®4 ファンデーションコースのご案内

## ☀️ ココが違う！ITIL®4！

### ポイントその1

**わかりやすい！**

ITIL®4は、ITILv3と比較してずっと平易で分かりやすい表現で記述されています。講習で使用する教材も図やケーススタディ、動画などを利用し理解を助けます。

### ポイントその2

**新たな社会人の教養！**

ITILv3ではプロセス中心の解説でしたが、ITIL®4ではDXなどのへの対応のため、リーン、アジャイル、DevOpsなどの考え方やマーケティング理論を取り込み、新たな社会人の教養、と呼ぶべき内容に拡充されました。

### ポイントその3

**組織変革を支える！**

ITIL®4は、ビジネスモデルの変革やDXへの取り組みに避けられない組織変革や組織のあり方、リーダーシップ論を語っています。ファンデーションでもその一環として「従うべき原則」などを学びます。

## ☀️ コース概要

本コースは、サービスマネジメントとITIL®4の基本的な概念、用語等について理解いただくことを狙う入門レベルのコースです。利害関係者（顧客やパートナー等）とともにサービス提供を通じて価値を共創していくための基本を学習します。

運用のご担当者だけでなく、開発や管理職の方々の業務に広く関連する内容であり、またITIL上位コースを受講されるためには必須のコースです。

本コース受講後、試験に合格すると、「ITIL®4 ファンデーション資格」を取得することができます。

当講習はお客様先での集合形式、またはオンライン経由でご提供させていただきます。

試験に際しては、受講者様のご自宅等から受験できるオンライン・プロクタリング試験※1、またはプロメトリック社が提供している試験センターでの受験※2が選択可能です。いずれの場合も、受講者様で別途ご予約いただくこととなります。

※1 オンライン・プロクタリング試験： ご自身で予約した時間帯に、オンラインで試験監督が立ち会い受験可能です。ご本人様確認書類のご用意が必要になります。詳細は[こちら](#)

※2 プロメトリック社提供の試験センターでの受験：プロメトリックIDを取得後、ご希望の試験会場と試験日時を選択し、受験可能です。受験会場でご本人様確認書類のご提出が必要になります。詳細は[こちら](#)

## ☀️ 研修内容とAGENDA

ITIL®4ファンデーションAGENDA概要を以下にお知らせいたします。

### 第1日

- 1.コースの概要
- 2.主要なコンセプト
- 3.従うべき原則
- 4.サービスマネジメントの4つの側面

### 第2日

- 5.ITIL サービスバリューシステム
- 6.継続的改善
- 7.ITILプラクティス  
模擬試験および解説

## ☀️ お申込み、お問合せ

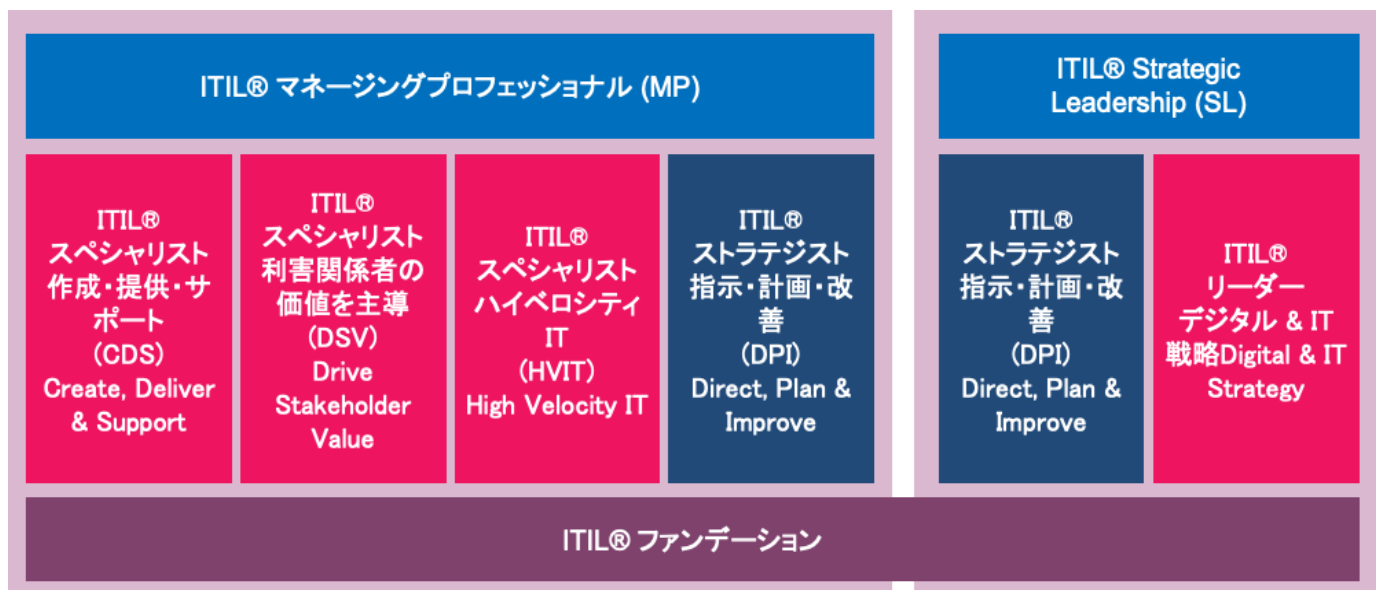
コースのお申込み、お問い合わせはお電話（03-6459-4750）または[education@hillabit.co.jp](mailto:education@hillabit.co.jp)までどうぞ。

想定される内容に基づきお見積りを差し上げます。

## ☀ ITIL®4の資格体系

ITIL®4では、基礎となるファンデーション資格の上位に、実務的なIT担当者のためのマネージング・プロフェッショナル(MP)、およびIT組織のリーダーのためのストラテジック・リーダーシップ (SL) の2種類の資格が設けられています。

MP移行コースは、マネージング・プロフェッショナル資格を得る目的で提供されています。



Copyright © AXELOS Limited 2020. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

## ☀ ITIL®4の背景と特長

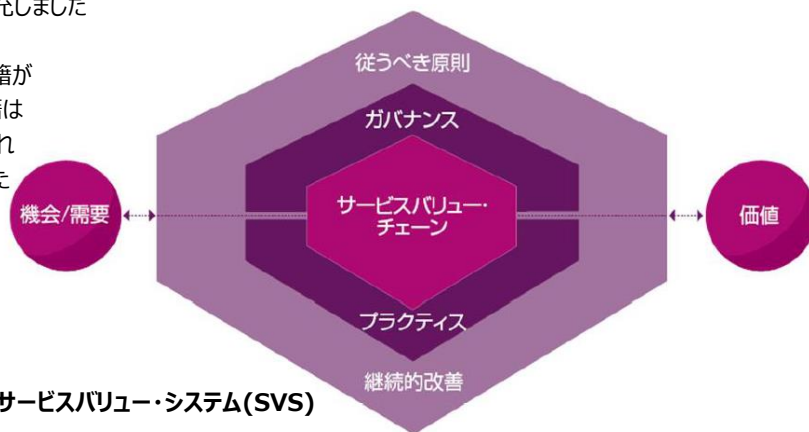
### ITIL®4の背景

ITの進化が急激にビジネスを変化させる「デジタル・トランスフォーメーション」(DX)においては、ビジネス変革の方向性に合わせ、クラウド、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなど最新のテクノロジーをいち早く最も適した形態で活用することが成功の鍵となります。

ITIL 4は、このような社会的な変化と、それに伴う新たなベストプラクティスの提供を目的とし、DXの実現に必要な要素として、ガバナンス、リーン、アジャイル、DevOpsなどを取り込み、刷新されました。

### ITIL®4の特長

- 価値の共創  
サービスプロバイダーと消費者が協力して価値を創出する「共創」のモデルを提唱しています。
- サービスバリューシステム  
ITIL v3に見られたライフサイクル・アプローチではなく、迅速かつ柔軟に必要な要素を組み合わせる「サービスバリューシステム」を採用しました。
- 優れた既存のフレームワークの採用と統合  
上位コースでは、さまざまな組織論、マーケティング的な方法論（カスタマー・ジャーニー）、DXを実現する多様な思考法を扱い、従来のプロセスを重視した内容を大きく拡充しました
- 書籍の構成と資格体系を統一  
ITIL®4では資格ごとに対応するITIL書籍が提供されます。このためファンデーション書籍は全体の基礎となるコンテンツのみを、それぞれの上位コースで同様に専門分野に特化した内容を扱うよう整理されました。



Copyright © AXELOS Limited 2020. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.